

令和5年1月11日

## 令和5年2月期、第3四半期決算 サマリー

(期間 2022年3月1日 ~ 2022年11月30日)

連結の第3四半期売上高は22.5%増、営業利益は2.2倍の過去最高益  
 パル単体ベースの第3四半期売上高は25.3%増、営業利益は2.1倍で同上

## 1. 連結決算概要

	今年度実績	2021年度実績	2019年度実績	2019年比
売上高	120,672百万円	98,512百万円	99,672百万円	121.1%
売上総利益	67,606百万円	55,029百万円	57,334百万円	117.9%
販売管理費	55,219百万円	49,396百万円	49,323百万円	112.0%
営業利益	12,387百万円	5,633百万円	8,010百万円	154.6%
経常利益	12,596百万円	5,720百万円	8,020百万円	157.1%
当期純利益	7,993百万円	3,680百万円	*6,559百万円	121.9%

\*(2019年の当期純利益には、1,520百万円の会計上の利益が含まれています)

## 2. 「株」パル+「株」パルGHD」決算概要 (旧株)パル単体ベース)

	今年度実績	2021年度実績	2019年度実績	2019年比
売上高	108,960百万円	86,926百万円	80,707百万円	135.0%
売上総利益	62,511百万円	48,951百万円	46,930百万円	133.2%
販売管理費	51,178百万円	43,597百万円	40,004百万円	127.9%
営業利益	11,332百万円	5,354百万円	6,925百万円	163.6%
経常利益	11,394百万円	5,491百万円	6,918百万円	164.7%
当期純利益	7,454百万円	3,691百万円	*5,827百万円	127.9%

\*(2019年の当期純利益には、1,520百万円の会計上の利益が含まれています)

## 3. 決算コメント

- ・ with / after コロナの経営戦略を推進、売上高が前年比22.5%増に、2019年比でも21.1%増と反転
- ・ 2022年10月以降、価格帯の高いタウン系の衣料事業でも、2019年比で、売上高・利益が反転し始める
- ・ 粗利益率は56.0%と前年比0.1ポイント増加ながら、雑貨事業での利益回復は、来期に持ち越し
- ・ 販管費率は、売上の増加や、経費の削減により、45.8%となり、前年対比で、4.3ポイント改善
- ・ EC売上は31.6%増と、前年同期以上の増加となり、EC通期売上高400億円超の着地見込み
- ・ 今期の新規出店は85店舗、退店は33店舗となり、当該期末で954店舗の純増52店舗

## 4. 決算関連数値

- ・ 既存店売上の状況

	2022年9月	10月	11月	第3四半期累計
	前年比/2019年比	前年比/2019年比	前年比/2019年比	前年比/2019年比
既存店(小売+EC)合計	118.7 / 108.0	118.7 / 137.0	113.1 / 118.0	116.8 / 121.0
うち小売既存店売上高	115.6 / 89.3	114.1 / 114.4	105.7 / 95.3	111.8 / 99.7
うちEC既存店売上高	128.9 / 254.5	133.8 / 334.9	136.7 / 298.1	133.5 / 295.0

- ・ 全店売上の状況

	2022年9月	10月	11月	第3四半期累計
	前年比	前年比	前年比	前年比
全店売上高	123.8	124.4	121.1	123.1
うちEC売上高	129.0	131.0	131.6	132.7

- ・ 既存店客数、客単価の推移(2022年、3月~11月累計)

	客単価	客数
衣料事業	106.9	117.7
雑貨事業	101.3	98.9







